

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中央アルプス国定公園を活用した地域振興事業
事業主体 (連絡先)	宮田村 (宮田村役場 産業振興推進室 商工観光係 85-5864)
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	957,558 円 (うち支援金: 647,000 円)

事業内容

中央アルプス国定公園の環境保全やライチョウの復活事業を支援するとともに、地域住民を対象にした講演会の開催やマスコミを通じた情報発信を強化した。

1. ライチョウ復活事業 参加者 8 人、延 24 日
2. ライチョウ観察事業 参加者 8 人
3. その他の記念事業 濃ヶ池保全など 7 事業を実施



【ライチョウと濃ヶ池の復活】

【目標・ねらい】

住民を巻き込んだ中央アルプスの環境保全と情報発信を行い、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ① 駒ヶ岳周辺のライチョウと面積が縮小した氷河湖 濃ヶ池の復活ができた。
- ② 濃ヶ池の復活により水没する登山道に代り、新たな登山道を設置できた。
- ③ ライチョウの全国放送や濃ヶ池の新聞報道等が多くなり、情報発信の強化による問合せが増加し山荘等への宿泊客が増加した。

事業効果

1. ライチョウ復活事業では、環境省の「ケージ保護」に住民が参加する機会を作るとともに、環境省の専門官による講演会や、中学校でのライチョウ学習の取り組みにより、住民へ復活事業を周知することができた。

またテレビの全国放送等により情報発信を強化することで、全国的な反応を得ることができた。

2. ライチョウ観察事業では、参加者からの写真等の情報提供により、観光情報の発信を強化することができた。

3. その他の記念事業では、巡視相談員の配置により案内活動を実施するとともに、濃ヶ池の環境保全工事等により、登山道や駒ヶ岳周辺の環境保全が進んだ。

また宮田高原での山野草観察会や濃ヶ池報告会により、駒ヶ岳の環境保全について住民に周知するとともに、今後の継続した取り組みへの参加を呼びかけ、自然保護にたいする住民意識の向上が図れた。

今後の取り組み

中央アルプスの環境保全や観光案内を行う巡視相談員の配置を継続するとともに、住民による環境保全や観光案内のボランティアの育成により、駒ヶ岳の環境保全と登山客や交流人口の増加を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある